

スイートピーの新品種育成

1. はじめに

スイートピーにはピンクや紫など様々な色があるが、青系統の主要品種は淡紫色で春咲き系統が多い。春咲き系統は約30日間種子冷蔵を行わなければ、収穫開始が2月頃になる。また、樹勢も強く、落蕾も多い。そのため、種子無冷蔵で、11月下旬から開花する青系の冬咲き品種の育成が望まれてきた。今回育成した系統「E-90」は花色は従来の「エリノア」と同様、濃青色であるが、開花特性は冬咲きで固定した品種で、近く品種登録を行う予定である。ここでは「E-90」の育成経過と特性について紹介する。

2. 育成経過

平成2年に既存品種「エリノア」より冬咲き個体を選抜し、自家採種を繰り返し、花色、開花期のばらつきを無くした。

3. 品種時期

1) 開花時期

種子無冷蔵では11月下旬から、15日冷蔵では11月中旬から開花する。「グレース」、「セレステ」では30日間冷蔵により11月下旬から開花する。「E-90」の30日冷蔵では、10月中旬から開花するが、発芽率や成長が著しく低下する。そこで、「E-90」の種子冷蔵期間は、従来の品種より短い日数が適当だと思われる。

2) 花色

「E-90」の花色は明青味紫で「グレース」、「セレステ」の浅紫より、明らかに濃く、現在和歌山で栽培されている品種にはない色である。

3) 切り花

切り花長は30cm以上のL級切花が9割以上で、階級別では「セレステ」に比べて、M級、A級が少ない。切り花本数は「セレステ」と同程度で商品化率は高いと思われる。また、切り花時期は12、1、2に多く、現在の主要品種の切り花が少ない時期に切れるメリットもある。

4) 着蕾数

着蕾数は平均4輪で、「セレステ」と同程度であるが、落蕾数は少なかった。

5) 栽培上の注意点

「E-90」は、花卉にシミが生じやすいので、湿度を低く管理する必要がある。また、種子冷蔵期間は樹勢、収穫開始時期等を考慮し、短期間(10日程度)にすることが望ましい。

4. まとめ

以上のことから「E-90」は、冬咲きで、県内にはない花色であるので、市場から求められている色のバリエーションの一つに加えることができると思われる。

(育種部 花田 裕美)

表1 スイートピー新品種「E-90」の開花特性

品種名	収穫始 月日	花色(JIS カラー番号)	30cm以上の 切り花率(%)	1本当たりの平均	
				着花輪数(輪)	1本当たりの 平均落蕾数(輪)
E-90	11.25	青味紫(8305)	99.0	3.9	0.23
セレステ	11.10	浅紫(8603)	88.0	3.5	0.72

注) 「E-90」は15日間、セレステは27日間種子冷蔵を行い、平成5年8月29日に播種

表3 スイートピー新品種「E-90」の月別、階級別収穫割合(%)

品種名	11月			12月			1月			2月			3月		
	M	L	2L	M	L	2L	M	L	2L	M	L	2L	M	L	2L
E-90	0	100	0	15	17	46	8	5	83	27	14	59	22	37	38
セレステ	27	21	0	20	11	51	11	16	65	5	31	62	1	54	42

注) 規格外のものを含めて100%とした。「E-90」は15日間、「セレステ」は27日間種子冷蔵を行い、平成5年8月29日に播種

表2 スイートピー新品種「E-90」の月別切り花本数 (株当たり)

品種名	月別収穫本数(本)					合計(本)
	11月	12月	1月	2月	3月	
E-90	0.9	80.4	148.4	159.7	170.2	559.6
セレステ	17.9	29.4	118.3	166.7	234.8	567.1

注) 「E-90」は15日間、セレステは27日間種子冷蔵を行い、平成5年8月29日に播種